



大阪・神戸
ドイツ連邦共和国
総領事館



マルティン・エバーツ ドイツ総領事 講演会 「ドイツのエネルギーシフトと ウクライナ戦争の影響」

Die deutsche Energiewende und die Auswirkungen des Ukraine-Kriegs

ロシアによるウクライナ侵攻から3ヶ月、激変するヨーロッパ情勢の中で、ヨーロッパ連合(EU)の経済大国であるドイツも様々な分野で大きな政策転換を迫られています。東日本大震災を受け、脱原発に舵を切ったドイツが、エネルギー政策を今後どのように転換していくのか、エネルギーの脱ロシア依存の先にどのような展望があるのかなど、最新の状況を踏まえてドイツ総領事が解説します。

日時: 2022年6月17日(金)16:30~18:00 開場16:10、16:20までにご着席下さい

場所: 鹿児島大学法文学部203号教室 (鹿児島市郡元1-21-30)

ドイツ語・逐次通訳付き。学生、職員、一般の方など、どなたでも聴講可。参加無料

主催: 鹿児島大学法文学部、大阪・神戸ドイツ連邦共和国総領事館 後援: 鹿児島日独協会

お問い合わせ: 法文学部法経社会学科 中島大輔 (nakajima@leh.kagoshima-u.ac.jp TEL.: 099-285-8895)

新型コロナウイルス感染防止のため、定員100名
当日の健康観察、検温ならびに会場入口での手指消毒、会場内でのマスク着用にご協力ください